



UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific
世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センター

2015年11月10日

国連世界観光機関（UNWTO）

世界観光指標（World Tourism Barometer）2015年10月号

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、UNWTO本部での準備完了次第、
下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

国際観光客到着数は著しい結果をみせるヨーロッパに牽引され4%の成長

PR No.: 15079

2015年10月29日

最新の UNWTO 世界観光指標によると 2015 年 1～8 月の国際観光客到着数はヨーロッパにおける近年の力強い傾向により 4.3%伸びた。2015 年の 1～8 月における国際観光客（一泊以上の訪問者）は 2014 年の同期比 3,300 万人増の 8 億 1,000 万人となった。

ヨーロッパは世界で最も到着数が多い地域であり、国際観光客到着数では着実に 5%増加を記録し、他の地域を凌ぎ、成熟した同地域にとって著しい結果であった。アジア・太平洋及び米州、中東の全てが 4%の成長となり、限られたデータであるがアフリカは国際観光客到着数では 5%の減少が見込まれている。

「観光部門は雇用創出及び貿易・投資の促進、インフラ開発、包括的な経済成長の促進にますます貢献し、国際観光の持続的発展は人々を大変勇気づけるものである。すなわち、近年、観光は確実に多くの国々において、景気回復の後押しの手助けとなり、雇用を創出している。」と UNWTO タレブ・リファイ事務局長が述べた。

「現状に満足するのではなく、私たちは持続可能性を中核におきながら、旅行の円滑化、コネクティビティーといった根本的課題を継続して取組んでいかなければならない。2015年9月に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、12月に各国の首脳が集まる「国連気候変動枠組条約第21回締約国会議」(COP21/CMP11)が開催されようとしており、持続可能性は観光の課題の最優先事項となる。」と加えた。

地域別の結果

2015年1~8月の夏の繁忙期が5%増という素晴らしい結果となったヨーロッパが貢献した。ユーロ圏は弱い通貨と継続的な景気回復により引き続き恩恵を受けた。中央・東ヨーロッパ(7%増)は昨年の落ち込みから回復した。北ヨーロッパ(6%増)、南・地中海ヨーロッパ(5%増)及び西ヨーロッパ(4%増)は多くの成熟したデスティネーションとともに堅調な伸びを記録した。ヨーロッパ連合(EU-28)の28カ国は同期比、到着数の6%増加を示し、同地域の平均を上回った。

アジア・太平洋の8月までの到着数は4%増となった。オセアニア(7%増)が伸びを牽引し、昨年の低調な結果であったタイの力強い回復により東南アジアが6%増となった。南アジアの到着数は4%増となり、日本が引き続き強い成長を見せ北東アジアは3%増となった。

米州の2015年1~8月の到着数は4%増加し、昨年に引き続き堅調な結果を残した。米ドル高は米国のアウトバウンド旅行を刺激した。米国及びヨーロッパ市場に刺激されカリブ・中央アメリカ(それぞれ7%)は最も高い成長となった。南アメリカ(4%増)は同地域の成長率の範囲内であるが、北アメリカ(3%増)は米国からの到着数が伸び悩み、緩やかな成長となった。

入手可能な限られたデータではあるが、北アフリカが10%減、サハラ以南地域が3%減となり、アフリカの到着数は5%減となった。中東は2014年からの着実な回復により4%の成長を見せている。(アフリカと中東のデータは限られたデータを基にしているため、使用においては注意が必要である。)

為替変動の観光需要への影響

全体的に観光需要は増加傾向であるが、観光の動きはいくぶん強い為替変動により影響を受けている。多くのデスティネーションでは望ましい為替レートの恩恵を受ける一方で、割高といわれるデスティネーションも出現しているが、海外への購買力も加速している。

送客市場の世界上位の中で中国が二桁以上の成長を示し、日本、タイ、米国、そして数多くのヨーロッパのデスティネーションが恩恵を受けた。新興国の中では、観光支出において、インド、南アフリカ、エジプトが二桁成長を示した。一方ではロシア、ブラジルは経済の制約、ルーブル及びレアル安が下落し観光支出は大きく落ち込みをみせた。

先進国・地域のアウトバウンド市場における観光支出は、米国(9%増)、英国(5%増)の強い経済及び通貨を反映している。ドイツとイタリアの観光支出はそれぞれ 3%増加し、フランス、カナダ、オーストラリアは米ドルに対する通貨安により低調であった。

「UNWTO 世界観光指標」

<http://mkt.unwto.org/barometer>

「UNWTO ツーリズムハイライト」2015 年度版（無償）

<http://mkt.unwto.org/publication/unwto-tourism-highlights>

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」) とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センターについて

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO アジア太平洋センターは、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同センターではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

(お問い合わせ先)

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)
担当：藤永、吉田
電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883
E-mail: info@unwto-ap.org

(メディア専用窓口)

UNWTO 本部 コミュニケーションプログラム
E-mail: media1@unwto.org

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法に関するお問合せは、UNWTO アジア太平洋センターにお問合せください。